

2017 年度第 2 回支部集会【北海道支部】開催報告

主催：公益社団法人日本語教育学会

共催：北海道大学国際教育研究センター・北海道日本語教育ネットワーク

開催日：2017 年 7 月 1 日(土) 会場：北海道大学国際連携機構国際教育研究センター 2F

参加者：58 名（会員 32 名・一般 26 名）

研究集会から支部集会へと名を改めて初めての北海道支部集会が、北海道大学で開催されました。例年に比べると参加人数は若干減りましたが、一般の割合が増えており、「より地域に密着した集い」という支部集会への移行目的からすると良い傾向だと思われます。今回の支部集会では、学会が一括して募集した「研究発表」（口頭発表 4 件・ポスター発表 1 件）と「交流ひろば」9 件のほかに、北海道支部の企画として「情報交換会」と「パネルディスカッション」が行われました。

「情報交換会」は、北海道内で国際交流・外国人日本語支援などを行う組織・団体がそれぞれ



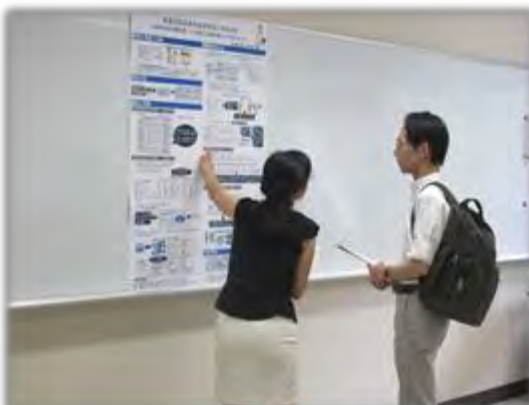
「パネルディスカッション」



「交流ひろば・情報交換会」



「研究発表」



「ポスター発表」

の活動について紹介・広報し互いに情報交換する場として設けられ、5つの組織の出展がありました。「パネルディスカッション」では、「北海道の日本語教育に求められること～情報共有と

今後の活動について考える～」というテーマのもと、大学をはじめ日本語教育に関わる5つの組織の担当者が登壇しました。ここでは、互いの現状と課題を共有し、新たなネットワークを構築することで、これからの支部集会・活動をどのように活用できるかについて議論されました。

今回は、初めての支部集会だったこともあり、まずは関係者間の交流と情報共有をプログラムの趣旨としましたが、概ねその目的は達成されたのではないかと思います。

とりわけ、交流ひろばと情報交換会は出展団体が14ブースもあって、賑やかな雰囲気の中で、バラエティに富んだ有意義な内容で行われました。すべてが貴重な活動と効果的な教育実践で、互いに役立つ良い議論が広げられました。参加者アンケートにも良い評価のコメントが多く、参加者の満足度が非常に高かったことがわかりました。一方で、パネルディスカッションについては「議論の内容が漠然」「時間配分が悪い」などの意見もあり、来年の企画に向けて今後、支部活動委員間で議論を続けて改善していく必要があります。

今回の北海道支部集会企画では、個別の声掛けに対して快く前向きに出展をご検討くださった北大の日本語教員の皆さまと北海道の大学や国際交流団体の皆さまのおかげで、このような有意義で多彩な形で開催することができました。この場を借りて、ご協力くださった皆さまに改めて心より感謝申し上げます。

(報告者：支部活動委員 鄭恵先)